

五ヶ瀬中学校での取組

リーディングスキルテストの個票

- 学級担任が、学活で7つの能力について説明し、個票を配付。また2月の参観日で保護者にも説明した。
- 個票についてはそのままの使用が禁止されているため、本校独自の表現に変更した。

例

1と2…△ 3…○ 4と5…◎

リーディングスキルテストの個票

教科	係り受け解析	照応解決	具体例同定(辞書)	具体例同定(理数)
内容	文の構造を正しく把握する。読解力の最も基礎となる能力。	代名詞が何を指しているかを正しく認識する。	辞書の定義を用いて新しい言葉とその用法を獲得できる。	理数的な定義を理解し、その用法を獲得できる。
判定	○	◎	◎	◎
アドバイス	やむを得ない文の構造はつかめていません。ただし、複雑な文になると「何が何をどうした」という関係を見失いがちです。文のイメージがしっかりと頭に浮かぶまで読むトレーニングをしましょう。文章を音読し、周囲の人や先生に聞いてもらうのも効果的な方法です。	文中の「それ」「これ」などの指示詞が何を指しているかをよく把握できています。ただし、文の構造が複雑になると混乱することがあるようです。新聞など省略の多い文を読み、何が省略されているか確認することを習慣づけましょう。	新しい言葉を獲得する基礎的な力は身につけています。ただし、抽象的な概念を示す言葉や、厳密な使い方が求められる言葉を獲得するのがやや苦手なようです。教科書の中に「～を〇〇といいます」という言葉が出てきたときは特に注意して読みましょう。	新しい言葉を獲得する基礎的な力は身につけています。ただし、抽象的な概念を示す言葉や、厳密な使い方が求められる言葉を獲得するのがやや苦手なようです。教科書の中に「～を〇〇といいます」という言葉が出てきたときは特に注意して読みましょう。
教科	同義文判定	推論	イメージ同定	保護者印()
内容	与えられた二文が同義か正しく判断する。言葉力や論理力が必要。	既存の知識と新しく得られた知識から論理的に判断する。	文と図(非言語情報)を正しく対応づける。	
判定	△	△	◎	保護者コメント
アドバイス	最後までテストに取り組めました。ただ、文章の読み方を基礎から見直す必要がありそうです。あわてて読まずに、意味がわかるまでじっくり読むようにしましょう。まず、問題集の答え合わせを自分でできることを目指しましょう。	最後までテストに取り組めました。ただ、論理的に文章を読むのが苦手なようです。まずは「すらすら読める」と感じる文章から読んでみましょう。ひとつの文を読んで、そこから他にどんなことがわかるか挙げてみましょう。	文章で表現されている内容を、正確に図・表・グラフ等で表現する力が比較的良く身につけています。ただ、集中力が切れると不正確に読む傾向があります。不得意な科目の教科書を読むときも、詳しいイメージが頭に浮かぶようになることを目指しましょう。	

各教科における具体的取組

4

国語	<ul style="list-style-type: none">○ 語彙力を伸ばすために、様々な文章に触れさせる。○ 問題をできるだけ多く解いて、慣れさせる。○ 日常生活で分からない言葉が出てきた時にそのままにしないで調べさせる。○ 学校外での豊かな生活体験を促す。○ 書いて表現させる時間をとる。
社会	<ul style="list-style-type: none">○ 歴史分野は基礎基本の徹底を行う。○ 「知識」と「発問の答え」を繋げさせる。覚えた学びを使える学びに変える。○ 必要性を感じさせる発問を行う。
数学	<ul style="list-style-type: none">○ 注意深く読ませ、必要な情報を見つけさせる。○ 答えの単位を見つけさせ、何を問われているのかを考えさせる。
理科	<ul style="list-style-type: none">○ 設問を先に読み、何を聞いているのかを考えさせて、問題文を読ませる。

各教科における具体的取組

5

英語	<ul style="list-style-type: none">○ 教科書の本文に出てくる代名詞が何を示しているかの発問を行う。○ 既習事項の文法の説明を自分たちの言葉でさせる。○ 基本文や複雑な英文が出てきた際に、主語・述語の印をつけさせる。○ 何度も授業中に既習事項の文法の復習をする。○ 日本語訳の添削の際に係り受け等を意識させる。
音楽	<ul style="list-style-type: none">○ 曲想について話し合わせる。○ 曲のイメージや聴いた感想を発表する場を設定する。
保健 体育	<ul style="list-style-type: none">○ 動きをイメージさせる。○ 少ない文字ではあるが、実技の本をしっかりと読ませる。○ アドバイスをする時に、相手に伝わるように話をさせる。

授業外におけるRS向上の具体策

6

1学年	<ul style="list-style-type: none">○ 帰りの会での1分間スピーチに合わせて、それに対する質問をする活動も取組んでいく。○ じぶんログを意識して読む。
2学年	<ul style="list-style-type: none">○ 帰りの会でペアによる1分間スピーチを行う。○ じぶんログを意識して読む。○ 「54文字の物語」を教室に掲示し、読解することへの興味関心をもたせる。
3学年	<ul style="list-style-type: none">○ 帰りの会で1分間スピーチを行う。○ リーディングスキルの説明を学活で行う。○ 日常会話において最後までしっかり言わせる。
全学年 共通	<ul style="list-style-type: none">○ じぶんログを意識して読む。○ 帰りの会での1分間スピーチを活用する。

生徒用アンケート項目

生徒 授業アンケート 福かな学力部会

○先生方がよりよい授業を展開できるように、アンケートに答えてください。

年 組 番 氏名

※アンケート実施の年組と教科に○をつけてください。

1年組	2年組	3年組	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育

○質問項目について、自分がそう思う、考える、感じる場所に○をつけてください。

4…とてもそう思う 3…そう思う 2…あまりそう思わない 1…全くそう思わない

項目	4	3	2	1
1. 1時間の学習目標（趣意）がはっきりとわかりますか。（枠で囲んでいる）				
2. 1まとめは明確で、何を学んだのかが伝わりますか。（枠で囲んでいる）				
3. 2 授業の進度はちょうどいいですか。（進む速さ）				
4. 2 授業の開始と終了は時間通りですか。				
5. 3 先生の指示、疑問は明確で、戸惑いなく行動できますか。（分かりやすい、動きやすい）				
6. 3 授業は図解やワークシートなど工夫され、理解しやすいですか。				
7. 4 先生の板書が見やすく、分かりやすいですか。（文字、色づかい、行間など）				
8. 4 授業中に文章を速く正確に読み取ったり、ノートにまとめたりする機会がありましたか。				
9. R 授業を通して文章や資料から必要な情報を読み取れるようになりましたか。				
10. R 授業を通してリーディングスキル（読解力）は身に付くことができましたか。				

☆授業の感想、伝えたいこと、もっと授業を分かりやすく、楽しくするためのアイデアなどを書いてください。（ほかのことでもいいです。）

R 授業を通して文章を速く正確に読み取ったり、ノートにまとめたりする機会がありましたか。

R 授業を通してリーディングスキル（読解力）は身に付くことができましたか。

保・小・中を通じた段階的な指導

1 スキルの指導を重視

- 児童生徒の発言を生かした授業の展開
 - ・ 児童生徒に板書させる。
 - ・ 児童生徒の発言を板書する。
 - ・ 発言内容をグループ化させる。など

2 思考の指導を重視

- 児童生徒の推論を高めることができる発問の設定
 - ・ 既有知識や経験によって、テキストにない内容を補足・精緻化できる発問を工夫する。など

- 日常的に授業で行うようにする。
- RSを学力向上の手段として、授業者が児童生徒に意識してRSを付けさせることを意識する。

オープン授業実施計画

日程	学年	教科
9月18日	3年	英語
	1年	社会
10月2日	1年	数学
	1年	理科
11月13日	2年	国語
	3年	音楽

オープン授業後の職員研修で事後研究会を実施

授業におけるチェックシート

授業に対するチェックシート

氏名 ()
 () 月 () 日 () 曜 () 年 () 組 教科名 ()

授業改善の keyword 「分かる!・できる!」まで進めよう!!!
 4:よくできていた 3:どちらかと言え試せていた
 2:どちらかと言え試せていない 1:できていない

№	授業の改善に対する チェックポイント	チェック	理由となった項目(複数可)
	生徒一人一人の理解度を高める		() 質問と回答のやりとり

R+	授業の中でリーディングスキルを意識していたか?+	4+	3+	2+	1+	<input type="checkbox"/> 発問の工夫+ <input type="checkbox"/> 資料からの読み取り+ <input type="checkbox"/> 生徒の発言の活用+ <input type="checkbox"/> 読解力を高められるような指示・アドバイス+
コメント+						

4	話し方(話し方)	4	3	2	1	<input type="checkbox"/> 話し方のテクニック <input type="checkbox"/> ノート・ワークシート活用
コメント						
R	授業の中でリーディングスキルを意識していたか?	4	3	2	1	<input type="checkbox"/> 発問の工夫 <input type="checkbox"/> 資料からの読み取り <input type="checkbox"/> 生徒の発言の活用 <input type="checkbox"/> 読解力を高められるような指示・アドバイス
コメント						

英語科 指導案

題材 Sushi-Go-Around in the World

本時の目標

- 世界の日本食ブームの背景を本文中から読み取ることができる。（外国語理解の能力）

3年1組 英語科 学習指導案（範本）
令和元年9月18日
指導者 支田 初人

1 題材 Sushi-Go-Around in the World

2 本時の目標

- 世界の日本食ブームの背景を本文中から読み取ることができる。（外国語理解の能力）

⊕ 学習指導要領

学習活動	
1 英語であいさつをする。 2 既習の英単語の発音と意味を確認する。 3 初めのセクションまでの内容を確認する。	(3分)
4 新出単語の発音と意味を確認する。 5 日本食に関する2つのグラフを見る。	
学習課題 なぜ日本で日本食がブームになったのか。	
6 本文を読み、分からない単語や表現に印をつける。 7 本文を読み、グラフを説明している英文に下線を引く。[イ] 8 本文の内容に関する疑問に答える。[ロ] 9 本文中の文法事項や重要表現を確認する。 10 なぜアメリカで日本食レストランが急激に増えているのかを答える。英文を長く。[ハ] 11 日本食ブームの理由を解説する。	
学習のまとめ Japanese food has become popular because it is healthy. + (生活が豊かになった理由)	
	(4.4分)
1.2 英語であいさつをする。	(1分)

4 教具計画

単元名	学習内容	考え方や様子上げ
学習問題 世界中における日本食ブームの理由を答えよ。	Japanese food - popular ○ healthy (fresh fish and vegetables) Low Fat In America Japanese restaurants - increasing In 2000 8,000 → In 2010 140,000 15x23	英語の読み取り 学習のまとめ Japanese food has become popular because it is healthy. + (生活が豊かになった理由)

英語科 指導案

13

**係り受け解析
(スキルの指導を重視)**

5 日本食に関する2つのグラフを見る。+

学習課題+

なぜ海外で日本食がブームになったんだろう。+

6 本文を聞き、分からない単語や表現に印をつける。

7 本文を黙読し、グラフを説明している英文に下線を引く。【イ】+

8 本文の内容に関する質問に答える。【係】+

9 本文中の文法事項や重要表現を確認する。+

10 なぜアメリカで日本食レストランが急激に増えているのかを考え、英文を書く。【推】+

11 日本食ブームの理由を発表する。

学習
Ja

**推論
(思考の指導を重視)**

(生徒が考えに埋田) +

イメージ同定 (思考の指導を重視)

- 1 前時の復習「戸籍の目的」「律令国家」「公地」
・税を取る、戦わせるため ・決まりに基づき国づくり ・国が土地を支配
- 2 教科書を読んで、班内協議法について理解する。「正丁」の意味に気づかせる。【イ】③
登録
プリント資料1)を読み取る。①

推論 (思考の指導を重視)

学習課題…なぜ、男性の人口が女性に比べて、すごく少ないのだろうか。

【10分】

- 5 プリント資料2をヒントに資料3の に入る言葉と理由を予想し、考える。【推】
・個人③→班②→発表⑤
・教科書から、税の種類を調べ()に書かせる。

数学科 指導案

15

イメージ同定
(思考の指導を重視)

1 本時の課題を解く。+

何人かの生徒で、あめを同じ数ずつ分けると7個ずつ分けると4個足りません。生徒の人数は15人です。

- ① 問題の中の数量を確認する。+
- ② 方程式を作り、問題を解く。+

※ 変わらない数量が「あめの個数」であることを確認し、どのように方程式を作るかを確認する。+

※ 線分図を用いて、数量の関係を確認する。【イ】+

※ あめの個数を求め、答えが問題にあってい

照応解決
(スキル指導を重視)

イメージ同定
(思考の指導を重視)

集まった人足りが、長いす1脚に5人ずつすわると1脚だけできませんでした。短いすは2人ずつ座ると2人だけすわらな

わらず、

6人ずつ座ると2人だけすわらな

が1脚だけできました。+

(1)並べた長いすは何脚でしょうか。(2)集会に集まった人は何人でしょうか。+

① 問題中の数量の関係をとらえ、何を x とするとよいか考え、問題にあった方程式を作る。【照】【イ】+

② 個人で考えた方程式をグループで検討する。+

③ 考えた解決方法を発表する。+

④ 集会に集まった人の人数を求める。+

(集まった人の人数を確認することで(1)の答えが問題にあってい

**イメージ同定
(思考の指導を重視)**

**係り受け解析
照応解決
(スキル指導を重視)**

<p>5 トスバッティングの説明を聞く。(5分) ㊦ (4人、5人一組) ㊦</p>	<p>○ 指示を明確にし、スムーズにさせる。 ㊦</p>		
<p>6 トスバッティングを行う。一人×2分 ㊦ (10分) ㊦</p>	<p>○ <u>大谷翔平の映像を見せ、最終のゴールをたせる。【イ】</u> ㊦</p>		
<p>7 映像を確認し、グループで自分のフォームを分析する。 ㊦ (15分) ㊦</p>	<p>○ <u>なぜボールを打ち返すことができないのか【推】</u> <u>【イ】に注目して、チームで仲間にアドバイスができるようにする。【係】【照】</u> ㊦</p>	<p>○ <u>仲間の課題をわかりやすく伝えているか。(観察)</u> ㊦</p>	<p>○ <u>実技の本や学習カード</u> ㊦</p>